neniam / 从不 / 「決して～ない」「一度も～ない」の意味を最も端的に表す常用2文字。「从」は画数が少なく(4画)比較的頻出のため、「不」(4画)との組み合わせも学習しやすい / 「不」は否定全般に転用でき、学習コストの削減にも寄与

1. tia / 那样 / 「そんな・あんな(そのような)」を表す日常的表現。「那」(6画)＋「样」(10画)で少々合計画数は多めだが、口語でも非常に一般的 / 「那」は指示詞として今後も頻用が想定されるため、学習コスト面で有利
2. t.e. (tio estas) / 即 / 「すなわち」「つまり」を一文字で示すのに便利な常用字。公的文書や文章語でも広く使われる / 7画とやや多めだが、1文字で「つまり」を表せるため、他の複数字表現(「也就是说」「也就是」等)より学習負担は軽減
3. ĝi / 它 / 「それ(非人称)」を表す最も一般的な人称代名詞。「它」(5画)は現代中国語で“it”に相当 / 頻度も高く、学習価値が大きい
4. tiu ĉi## / 这 / 「この、その(近称)」を表す最も基本的な指示詞。「这个」の略用にも相当するが、単独の「这」(7画)で「これ」「この」を示す / 既に「那」などとセットで指示詞として何度も使えるため、学習コストは抑えられる
5. tiam / 那时 / 「その時・あの時・当時」の意味。「那」(6画)＋「时」(7画)で13画だが、いずれも使用頻度が高く意味も直観的 / 「那」はすでに利用しているため、追加学習負荷は「时」1字分のみ
6. do / 那么 / 「それでは」「そこで」「では」の意を表す、口語で頻出の2文字表現。「那」(6画)＋「么」(3画) => 合計9画 / 「那」は既出なので、新たに「么」(3画)を覚えるだけで使い回し可能
7. jen / 看 / 「ほら(見て)」「ここに～がある」「ごらん」と注意を促す際によく使われる短い表現を1文字で。「看」(9画)は「見る」という動詞としても頻出 / 他にも「看书(本を読む)」など多用途で学習意義大
8. tie / 那儿 / 「そこ・あそこで(場所)」の意。「那里」「那儿」どちらも可能だが、口語的に短い「那儿」(6画＋2画=計8画)を採用 / 「那」は既出、新規は「儿」(2画)のみで負担が小さい
9. tie ĉi## / 这儿 / 「ここ・こちら(場所)」の意。同様に「这里」「这儿」のうち、口語的かつ画数の少ない「这儿」(7画＋2画=9画)を採用 / 「这」は既出のため、新規は「儿」(すでに上記で登場)のみ
10. ĉie / 到处 / 「どこでも・至る所に」の意。「到」(8画)＋「处」(5画)=計13画だが、「到处」は現代中国語で「至る所」という意味で非常に一般的 / 「处」は他の熟語(某处等)にも展開可能
11. kie / 哪儿 / 「どこ？」を問う常用表現。「哪里」「哪儿」があるが、口語的・画数が少なめな「哪儿」(9画＋2画=11画)を採用 / 「那儿」と対になる形で覚えやすく、「儿」も既出
12. ie / 某处 / 「どこか・どこかしら」を表す表現。「某」(9画)＋「处」(5画)=14画でやや多めだが、意味がはっきりし学習しやすい / 「处」は既出のため、新規は「某」のみ。抽象的な「某」は後々ほかの「某人」「某物」などにも応用可能
13. kia / 什么样 / 「どんな・どのような」を問う一般的かつ口語的表現。「什么」(10画)＋「样」(10画)=20画と多めだが日常表現 / 「什么」「样」ともに既出・再利用が多く見込めるため、学習コスト分散の恩恵あり
14. kies / 谁的 / 「誰の？」を問う表現。「谁」(10画)＋「的」(8画)=18画とやや多いが、いずれも頻出 / 「的」はこの先あらゆる修飾表現でほぼ必須なため、学習の優先度が高い
15. kiu## / 谁 / 「誰？」「どれ？」を表す最も基本的な疑問代名詞。すでに(15)で「谁」は登場済 / 学習コストほぼゼロ(重複利用)
16. kiu / 谁 / 同上(16)と同じく「誰？」「どれ？」 / 繰り返し利用により習熟が進む
17. jes / 是 / 「はい」「肯定」の意。中国語で最も基本的な肯定表現 / 9画とやや多めだが、“yes”に相当する語として汎用性が高い
18. se / 若 / 「もし〜なら」を古風・簡潔に一文字で表す。「如果」よりも短いため学習コストは抑えられる / 8画で、文語・成語でも頻出(「若干」「倘若」等)
19. sed / 但 / 「しかし」を表す最も簡潔な一文字。4画と少なく、会話文でも使いやすい / 逆接を示す他の熟語(但是・但却等)への展開も容易
20. kvankam / 虽 / 「(〜だ)けれども」「とはいえ」を一文字で表す。口語では「虽然」が多いが、字数削減と学習コスト低減を優先 / 9画でやや高めだが、ほかに「虽然」「虽说」など形を変えてよく登場
21. tamen / 却 / 「しかしながら」「それでも」「それにしても」の意。「但」とは別の逆接ニュアンスとして使い分け / 7画で一文字完結。文章でも口語でも比較的頻用
22. tamen## / 却 / 上記(22)と同義扱いで同じ字を再利用 / 新規学習コスト不要
23. eĉ## / 连 / 「(〜で)さえ」「すら」の意味を1文字で表す。「甚至」より短い / 7画だが、連用表現「连...都...」など日常表現で非常に使用頻度が高い
24. ankoraŭ / 还 / 「まだ」「依然として」の最頻用語。「仍」(4画)もあるが、「还」は「さらに」「また」の意味もあり汎用性が高い / 7画だが口語頻度抜群
25. kiom / 多少 / 「いくつ？どれほど？」「どれくらい？」を問う代表的表現。口語・文章どちらでも汎用性大 / 「多」(6画)＋「少」(4画)=合計10画で比較的短め。1文字「几」もあるが数が小さいイメージがあるため、より広義の「多少」を採用

kiom## / 多少 /

* + 選定理由: 中国語で「どれほど」「いくら」という疑問量を表す常用表現。日本語でも「多少(たしょう)」の語感から数や量を問う意味を想起しやすい。
  + 学習コスト: 「多」「少」はどちらも常用漢字で画数も比較的少なめ。ほかの語根でも使える汎用性が高い。

1. kiom## (重複) / 多少 /
   * 選定理由: 上と同じ。「kiom##」が重複しているため同じ割当。
   * 学習コスト: 同上。
2. kelk / 一些 /
   * 選定理由: 中国語で「いくつか」「少しの」を表す一般的な表現。「一些(いっしゃ)」は日本語話者にもなんとなく“いくらか”の意味が推測しやすい。
   * 学習コスト: 「一」は最小画数(1画)で非常に頻度が高い漢字。「些」はそこそこ使用頻度があるが、字形はやや複雑。ただし今後「一些」を複数の“少量”系語根で使い回す可能性があるので、学習コスト分散には貢献しうる。
3. iom / 一些 /
   * 選定理由: 「いくらか」「多少」という意味で、上のkelkと同じく「一些」が使える。少量・若干を表すニュアンスが似ている。
   * 学習コスト: kelkと同じ形を再利用し、学習コストを抑える。
4. mult / 多 /
   * 選定理由: 漢字1文字で「多い」「多量」を表す最も直接的な常用字。
   * 学習コスト: 画数(6画)もそれほど多くなく、日本語でも「多い」の意味で馴染みがある。
5. tiom / 那么多 /
   * 選定理由: 中国語で「そんなにたくさん」「あんなに多い」というニュアンス。日本語話者にも「那(な)」「么(め)」「多」の字面から「それほど多い」感じを推測しやすい。
   * 学習コスト: 3文字だが「多」は既出で、今後「那」「么」も疑問詞(什么)などで汎用できる可能性あり。
6. plej / 最 /
   * 選定理由: 中国語・日本語で「最も」を表す基本的な漢字。
   * 学習コスト: 6画で比較的シンプル。広く使われるため学習価値が高い。
7. maksimum / 最大 /
   * 選定理由: 「最大限」「最大量」を直感的に表す2文字。中国語でも日本語でも同義。
   * 学習コスト: 「最」は既出。「大」は3画で簡潔、他の語根(大きさ関係)にも応用可能。
8. almenaŭ / 至少 /
   * 選定理由: 中国語で「少なくとも」の定型表現。日本語でも「至(いた)る」「少(すく)ない」という熟字訓のイメージから“最低でも”という意味を想像しやすい。
   * 学習コスト: 「少」は既出。「至」は初出だが画数(6画)はそこまで多くなく、常用表現としての価値あり。
9. minimum / 最小 /

* 選定理由: 「最小限」「最も小さい」を表す。中国語・日本語ともに意味が一致し分かりやすい。
* 学習コスト: 「最」は既出。「小」は3画で覚えやすい。

1. ĉia / 各种 /

* 選定理由: 「あらゆる種類の」「すべての種類の」を意味する際の中国語表現。日本語でも「各種」「種々」という熟語の感覚から連想可能。
* 学習コスト: 「各」はよく使われる(6画)。「种」は簡体字(9画)で、「種」の簡体形。「種類」「種子」など幅広く使うため汎用性あり。

1. tut## / 全 /

* 選定理由: 「まったく」「全く～」など、全体を強調する際に用いられるシンプルな1文字。「全部」「完全」などにも通じる。
* 学習コスト: 6画で形も比較的分かりやすい。様々な「全～」表現に転用可能。

1. ĉiom / 全部 /

* 選定理由: 「数量的に全部」「すべての量」を示す際の代表的な2文字表現。
* 学習コスト: 「全」は既出。「部」はやや画数多め(10画)だが「全部」「部門」「部分」など使用範囲は広い。

1. tut / 全 /

* 選定理由: 12番の\*\*tut##\*\*と同様、「全部」「全体」を表す意味。語根の使い分けは上付き文字などで区別を想定。
* 学習コスト: すでに割り当て済みの「全」を再利用。

1. respektiv / 各自 /

* 選定理由: 「それぞれの」「めいめいの」を表す際に使われる一般的表現。
* 学習コスト: 「各」は既出。「自」は6画だが、日本語でも「自分」「自由」など頻出字であり、覚える価値が高い。

1. po / 各 /

* 選定理由: 「～ずつ」「各～」という配分を表す意味には「各」が最適。
* 学習コスト: 既出の「各」を再利用。

1. ĉies / 各人 /

* 選定理由: 「みんなの」「各人の」という意味合いに近い簡潔な表現。
* 学習コスト: 「各」「人」はいずれも画数少なく、頻度の高い常用字。所有を表すニュアンスは後で補注(上付き文字等)で区別を想定。

1. ĉiu / 各 /

* 選定理由: 「各々の」「毎～」という意味をシンプルに1字で表す。配分や総称を表す際に便利。
* 学習コスト: 既出の「各」を再利用(上付き文字等で区別)。

1. ĉiu## / 各 /

* 選定理由: 上と同じく「各」。重複登録のため再利用。
* 学習コスト: 既出。

1. ju / 越 /

* 選定理由: 「～すればするほど」「いっそう～」を示す漢字。「越…越…」の構文は中国語でも「～すればより～になる」という比較級表現。
* 学習コスト: やや画数多め(12画)だが、「超える」「こえる」のニュアンスを持ち、他の語根(“越す”“超える”系)にも流用可能。

1. ol / 比 /

* 選定理由: 「～よりも」を表す最も基本的な比較語。中国語の文法でも「A比B～」の形で“より”を示す。
* 学習コスト: 4画と少なめ。「比較」「比例」などでよく使われる。

1. des / 越 /

* 選定理由: 「それだけますます」「いっそう」というニュアンス。「ju ~ des ~」構文で同じ「越」を再利用。
* 学習コスト: 20番と同じ字を使い回し。

1. pli / 加 /

* 選定理由: 「より(いっそう)」「さらに多い」を示す際、中国語で“増える”ニュアンスには「加」もよく使われる。
* 学習コスト: 5画でシンプル。「追加」「加算」など多方面で使えるため汎用性がある。

1. plu / 更 /

* 選定理由: 「さらに」「その上」という継続的・追加的ニュアンス。中国語の「更(さらに)」に近い。
* 学習コスト: 7画だが、「更に」「変更」「更正」など日本語・中国語ともに頻度が高め。

1. preter / 越 /

* 選定理由: 「…を超えて」「…を通り過ぎて」という意味で「越える(= 超越)」の「越」を再利用。
* 学習コスト: すでに「ju」「des」と同じ文字を流用。意味は上付き文字等で区別予定。

1. pas / 过 /

* 選定理由: 「通過する」「(時間が)過ぎる」など“pass”のニュアンスに最適。中国語でも「经过」「通过」など「过」を使った表現が多い。
* 学習コスト: 5画。日本語でも「過ぎる」「通過」などの熟語に含まれる「過」の簡体形。

1. sur / 上 / 「～の上に」を示す最も基本的な漢字 / 漢字圏では非常に頻出で画数も少ない
2. trans / 过 / 「越える・渡る」のイメージに近い簡体字 / 簡体字圏で「过马路(道路を渡る)」「经过(経過する)」など頻用
3. kontraŭ / 对 / 「対峙する・向かい合う・反対する」の意味合いを広くカバー / 「対」「对」は日中いずれでも非常に認知度が高い
4. al / 向 / 「～へ向かう」のニュアンスを端的に表せる / 日中ともに「方向」の意味で分かりやすい
5. ĉiam / 常 / 「いつも・常に」の意 / 「常(つね)」として日本語にも存在し、簡体字でも頻出
6. oft / 常常 / 「たびたび」「しばしば」 / 「常」を繰り返して「頻度が高い」ことを表す中国語定番表現
7. kiam / 何时 / 「いつ？(時を問う)」 / 「何」と「时(時)」で「何時＝いつ？」のイメージとなり、日中ともに把握しやすい
8. iam / 有时 / 「あるとき・時々・かつて」など「不定の時」を表す / 「有时(ときに)」は「時々」の意味で簡体字でもよく使われる
9. ia/foj## / 有时 / 同じく「ある時」「不定の時」のイメージで再利用 / 厳密には“foj(回・度)”のニュアンスもあるが、学習コスト削減を優先し同一割当
10. adiaŭ / 再见 / 「さようなら」の中国語そのまま / 「再(また)＋见(会う)」で分かりやすい
11. jam / 已 / 「すでに」 / 現代中国語では「已经」が一般的だが、学習コストを抑えるために画数の少ない「已」を採用(やや書面語的)
12. antaŭ / 前 / 「前に・先に」の意をもっとも素直に表す / 日中ともに馴染み深い
13. anticip / 预 / 「前もって(予め)」「予測する」の核心を単文字で / 「预报(予報)」「预期(予期)」などに通じる
14. apenaŭ / 仅 / 「かろうじて・ほとんど～ない」など「わずか」のニュアンス / 「仅仅(わずかに)」としても使われる
15. apenaŭ## / 仅 / 上記と同義のため再利用 / 後で上付き文字等で区別予定
16. aŭ / 或 / 「または・あるいは」 / 簡体字でも伝統的にも同形で、「或者」の省略形として認識可
17. ĉu## / 吗 / 中国語で疑問文(Yes/No)に使う決まり字 / 日本語話者にも「マ」の音で覚えやすい
18. ĉu / 吗 / 同上、疑問の機能を示す / 後で区別が必要なら上付きなどで対応
19. kvazaŭ / 如 / 「まるで～のようだ」の比較を表す漢字として / 「如果(もし)」「如同(～のように)」などもあり
20. kvazaŭ## / 如 / 上記と同義のため同一割当 / 後で区別をつける運用
21. probabl / 可 / 「ありそうな」「起こり得る」ニュアンスを簡易的に / 「可能(かのう)」の「可」として理解しやすい
22. ebl / 可 / 「可能(受け身)」の接尾辞的意味も同じ文字で流用 / 細部は上付き文字などで区別
23. sub / 下 / 「～の下に」 / 最も基本的で画数も少ない
24. post / 后 / 「～のあとで」 / 簡体字で「後」の意味、発音も「hòu」で分かりやすい
25. dum / 间 / 「～する間・～している最中」 / 「时间(時間)」など、中国語で「期間的な間」も表す
26. dum## / 间 / 上記と同義ゆえ再利用 / 文脈により上付き文字で区別
27. inter / 间 / 「～のあいだに・間にある」 / 中国語「之间」「中间」などでも使われる核心の字

en/中/「～の中」の意味で使いやすく画数も少ない/他語にも応用しやすい

konsist/组成/「～から成り立つ」の意味を表す常用熟語/「组」「成」は汎用性が高い

de/的/所有・所属を示す際に中国語で最も頻出/頻用字で学習コストも低め

el/出/「外へ出る」の意味でen(中)との対比も明確/画数が少なく認知度が高い

ĝis/到/「～まで」の意味を端的に表す常用字/使用頻度が高く学習しやすい

ĝis##/到/同上(接尾辞扱い)./区別は振り仮名や上付き文字等で対応

per/以/「～によって」「～を用いて」を示す際に便利/シンプルで汎用性が高い

pri/关于/「～に関して」「～について」を表す常用熟語/二文字だが意味が明確

tra/通/「～を通って」のイメージを一文字で表現/汎用性が高く他語にも応用可能

k.t.p./等/列挙の「など」を代表する字/日中で認知度が高く覚えやすい

kun/和/「～と共に」を表現するのに最も一般的/「and」としても使えるため流用しやすい

ankaŭ/也/「～もまた」の意味に対応/画数が少なく理解しやすい

kaj/和/「そして」を表す接続詞/kunと同字だが将来的に上付き等で区別予定

potenc/力/勢力・パワーを直接表現/画数が少なく汎用性が非常に高い

aŭtoritat/权/権威・権力を示す際に適切/政治関連で頻出し学習コストも比較的低い

reg/治/統治・支配の意味を端的に示す/短く認知度が高い

hegemoni/霸权/「覇権」をそのまま表す中国語表現/二文字だが政治用語として定着

regent/摄政/「摂政」を示す標準的な熟語/政治用語として理解されやすい

prerogativ/特权/「特権」「大権」に近い意味合い/「权」を再利用するため学習負担減

administr/理/管理・処理の意味を担う「理」で代用/画数が比較的少なく概念カバー

administraci/管理/「管理部」に相当する熟語/「管」と「理」で意味が明確

direktor/主管/「管理者」の意味を示す常用表現/「管」を再利用し学習効率アップ

intendant/管家/家を管理する執事をイメージしやすい/既出の「管」を再利用

prezid/主持/議長や会議を主宰する意を表す/常用語で覚えやすい

mastr/主人/「主人」をそのまま表すシンプルな熟語/日常語で認知度が高い

ĉef/主/主要・中心を示す接頭辞にふさわしい/既出の「主」で学習負担を抑制

estr/长/「～長」を示す接尾辞として最適/校长・院长など派生語も多数

1. mastr/um## / 家务 / 家事・家政を扱う語感に近い / 「家」「务」はどちらも頻出字で学習コストが比較的低い
   * 理由: エスペラント「mastrumi」は「家政をとる、家事を切り盛りする」という意味。中国語で「家务」は「家事・家の用事」を指し、日本人にも「家事」という概念で連想しやすい。
   * 学習コスト: 「家」「务」は、のちに「サービス(服务)」「タスク(任务)」「職務(职务)」などでも再登場する可能性が高く、偏旁使い回しに有利。
2. vart / 保育 / 子どもの保育や世話に対応 / 「保」「育」は日中ともに分かりやすく、他単語にも転用しやすい
   * 理由: 「vart」は子どもを保育・養育するニュアンス。「保育」は日本語でもおなじみで、中国語圏でも「保育员(保育士)」などの形で通じる。
   * 学習コスト: 「保」は「保护(保護)」「保证(保証)」など、また「育」は「教育」「培育」など頻用語に含まれるため、学習範囲を広げやすい。
3. zorg / 关心 / 心配する・世話をするなど「気にかける」意味を重視 / 「关」「心」も高頻度字
   * 理由: 「zorg」は「世話をする、心配する、気遣う」を含む広義の“ケア”。「关心」は「気にかける」「配慮する」「心を寄せる」などの意味で、中国語として自然。
   * 学習コスト: 「关」は「关系(関係)」「关门(戸を閉める)」などでよく使われ、「心」も核心語彙。「心配」のイメージを日本人も直感しやすい。
4. fleg / 护理 / 看護・介護の意味に対応 / 「护」「理」は管理系や看護系で汎用性が高い
   * 理由: 「flegi」は医療的な看護・介護に近いニュアンス。「护理」は病人や高齢者などをケアする行為を指す標準的な表現。
   * 学習コスト: 「护」は「保护(保護)」「看护(看護)」など、「理」は「管理」「道理」「理解」など非常に頻度が高い。
5. kelner / 服务员 / ウェイターに相当 / 「服务」「员」ともに常用字
   * 理由: 「kelnero」は「給仕・ウェイター」を意味。中国語の定番表現は「服务员」。
   * 学習コスト: 「服务(サーブする)」「员(スタッフ)」は他の職種(店员・职员など)にも転用しやすい。
6. serv / 服务 / 仕える・奉仕するの意に対応 / 上の“服务员”とも連動
   * 理由: エスペラントの「servi」は「サービスを提供する」「仕える」を意味し、中国語「服务」はまさに「奉仕・サービス」の一般動詞。
   * 学習コスト: 「服」「务」は共に他単語で繰り返し登場しやすいため、再利用性が高い。
7. deĵor / 值班 / 当直・当番の概念に合う / 「值」も「班」も職務関連で頻出
   * 理由: 「deĵori」は当直・当番勤務をする意。中国語では「值班」がもっともポピュラー。
   * 学習コスト: 「值」は「价值(価値)」「值日(当番日)」などで使われ、「班」は「上班(出勤)」「下班(退勤)」などでよく出現。
8. meti / 手艺 / 手仕事・手工芸を表す / 「手」「艺」は技能系でよく見かける
   * 理由: 「meti」は職人的手仕事・手工芸のニュアンスがあるため、「手艺(手工芸・技能)」が最も直感的。
   * 学習コスト: 「手」は基礎字であり、「艺(芸)」も「文艺」「艺术(芸術)」などに広く使われる。
9. profesi / 职业 / 職業(プロフェッショナル)の意味に対応 / 常用度が非常に高い
   * 理由: 「profesio」は「専門職・職業」の意。中国語「职业」はまさにそのまま「職業」。
   * 学習コスト: 「职」は職務系語彙で繰り返し登場し、「业」は「工业」「商业」「学业」など幅広く使われる。
10. karier / 事业 / (身を立てる)キャリアの意味に近い / 「事」「业」はともに高頻度

* 理由: 「kariero」は「生涯の仕事・キャリア」。中国語では「事业」と表すと「キャリアとしての道」「大きな仕事・事業」の両義をカバーしやすい。
* 学習コスト: 「事」はあらゆる場面に頻出し、「业」も上述のとおり広範に使用。

1. rol / 角色 / 劇や職務上の役割を示す / 日中共通で分かりやすい

* 理由: 「rolo」は「役割」「配役」。現代中国語で「角色」は「役(役柄)」という意味が確立している。
* 学習コスト: 「角」「色」いずれも基本的な漢字で、日中ともに理解しやすい。

1. servut / 奴役 / 史的な強制労働・農奴制などを連想 / 簡潔に「奴」「役」を合わせる

* 理由: 「servuteco」は「農奴制」「隷属的労働」といった歴史的概念。中国語で強制的に使役されるニュアンスを最も直接的に表すのが「奴役」。
* 学習コスト: 「奴」は奴隷関連、「役」は「役割」「役人」「服役」など多方面で出現。

1. posten / 岗位 / 部署・ポジション・職務上の配置 / 公的な“ポスト”として自然

* 理由: 「posteno」は「部署・職務ポスト・任地」など。中国語で「岗位」は仕事上の配置・ポジションによく使われる。
* 学習コスト: 「岗」は「岗哨(見張り所)」「上岗(就職)」などで出現、「位」は「位置」「地位」などで非常に汎用的。

1. ofic / 职务 / 職務・公職の意 / 「務」の再利用で学習負担を低減

* 理由: 「ofico」は「官職」「公務」「職務内容」を指す語。「职务」は「職務・任務内容」という意味合いで近い。
* 学習コスト: 「职」は上記のとおり頻出、「务」も「家务」「任务」など何度も出るため覚えやすい。

1. task / 任务 / 任務 / 既に広く使われる定番訳

* 理由: 「tasko」は「任務・課題」。中国語でも「任务」はきわめて一般的。
* 学習コスト: 「任」は「责任(責任)」「担任」「任何(いかなる)」など頻度高く、「务」も上記参照。

1. labor / 劳动 / 働く・労働するの意味 / 「工作」でも良いが“労働”感を強調

* 理由: 「labori」は「働く」「労力を費やす」。中国語「劳动」は肉体労働から精神労働まで幅広くカバー。
* 学習コスト: 「劳」は「劳驾」「疲劳」「功劳」など頻繁に使われ、「动」も「行动」「运动」など基本語。

1. okup / 占 / (場所・時間を)占める、(職を)占有するなど多義 / 単字「占」をベースに派生可能

* 理由: 「okupi」は「占める」「専有する」「忙しくしている」など広義。単独での中国語訳が難しいため、最小限「占」を当て、派生時に「占用」「占领」「从事」等を加える運用を想定。
* 学習コスト: 「占」は画数が少なく、「占卜(うらなう)」「占用」「占线(回線が埋まる)」など多様な語に出る。

1. dung / 雇用 / 雇う動作 / 「雇」「用」の熟語で標準的

* 理由: 「dungi」は「雇う」「雇用する」。中国語では「雇用」「雇佣」がいずれも使われるが、ここでは「雇用」が比較的シンプルかつ汎用性がある。
* 学習コスト: 「雇」は「顾(意味は異なるが形が似ている)」「户(家の戸)」などと字形を比較しやすく、「用」は最重要基本字の1つ。

1. legitim / 认证 / (身元などを)正当・真正だと証明するニュアンス / ID確認にも近い

* 理由: 「legitimi」は「合法性を証明する」「身分証明する」。中国語「认证」は資格認定・ID認証など広範な文脈で使われる。
* 学習コスト: 「认」は「认为」「认知」「确认」など認識系で頻出。「证」は後述の「证明」「作证」などとも関連。

1. pruv / 证明 / (事実を)証明・立証する / 最もストレートに“証明”

* 理由: 「pruvi」は「証拠を示して証明する」。中国語では「证明」がもっとも直接的。
* 学習コスト: 「证」は認証や証拠関係で頻繁に登場。「明」は「说明(説明)」「明白(明らか)」などでも非常に多用。

1. atest / 作证 / (証人として)証言する、立証に協力する / 「pruv(证明)」との使い分け

* 理由: 「atesti」は「証人として証言する・立証する」。単に「証明する(pruvi)」より「証人として口頭証言する」ニュアンスが強いので「作证」を推奨。
* 学習コスト: 「作」は「作品」「动作」など、「证」は上記と共通。重複利用で学習負担を減らせる。

1. konstat / 核实 / (事実を)確認・照合して確かめる / 「確認」の一種だが“しっかり調べて”の含意

* 理由: 「konstati」は「事実を(検証で)確かめる」「実情を突き止める」。中国語では「核实(チェック・検証)」が自然。
* 学習コスト: 「核」は「核心」「核对(照合)」などで頻度が高く、「实」は「实际」「事实」など重要字。

1. konfirm / 确认 / (事実・取り決めなどを)最終的に確かめる / 日常で最も一般的な“確認”

* 理由: 「konfirmi」は「確証を得る・正式に認める」という意味。中国語「确认」は「事柄をはっきり認める」用法で日常的にも非常に多い。
* 学習コスト: 「确」は「确实」「明确」などで出現、「认」は上記と同じく認証系のキー。

1. sankci / 批准 / [政]裁可・許可の意味に近い / “制裁”の意味ではなく“承認”側を重視

* 理由: 「sankcii」は「公式に許可する・裁可する」「制裁する」の両義を持つが、ここでは[政]裁可(ポジティブな承認)の意味を優先。標準的な訳は「批准」。
* 学習コスト: 「批」は「批评(批判)」「批发(卸売り)」などで見かけ、「准」も「准许(許可)」など関連多し。

1. permes / 允许 / 許可する / “許容・OKを出す”ニュアンス

* 理由: 「permesi」は「認める、許す」。中国語「允许」は「(他人の行為を)許す・受け入れる」という日常表現。
* 学習コスト: 「允」は「允诺(承諾)」などやや限られるが基本的、「许」は「也许(あるいは)」「许可」などでまた登場。

1. licenc / 许可 / [商]ライセンスや特許(特許許可)の語感 / 「permes(允许)」との近縁語

* 理由: 「licenco」は「許可証」「免許」「ライセンス」の意。中国語「许可」は動詞でも名詞でも使え、概念的に広い。
* 学習コスト: 「许」は「允许」等と重複し学習しやすい、「可」は「可以」「可能」など頻出。

1. definitiv / 最终 / 最終決定・確定的な意味 / 「最後・最終」ニュアンスを明確に

* 理由: 「definitiva」は「最終的な」「決定的な」の意。中国語では「最终(最終的)」「最后(最後)」が一般的。「最终」のほうが“決定・確定”感を含む。
* 学習コスト: 「最」は「最好」「最近」などで頻出、「终」は「终点」「终了」など時の終わりを指す語彙。

decid / 决 /

* + 選定理由: 「決」の簡体字。日本語の「決定」と同源であり、中国語でも「决定(決定)」として“決める”意味を表す。
  + 学習コスト: 画数が少なく(6画)頻出度も高いため、学習コストは低い。

1. determin / 定 /
   * 選定理由: 「確定」「決定」などに通じる漢字。「确定」「决定」の「定」に相当し、“定める”ニュアンスを表せる。
   * 学習コスト: 漢字圏(日本語・中国語)で広く使われる常用字であり、画数も8画と比較的少ない。
2. diagnoz / 诊断 /
   * 選定理由: 医療用語として標準的。「診断」は日本語でも同じ表記(旧字体では「診斷」)であり、意味が直感しやすい。
   * 学習コスト: 2文字ながらどちらも医療分野で頻出度が高い。「诊」(7画)と「断」(11画)でやや多めだが、重要度が高いため妥当。
3. difin / 定义 /
   * 選定理由: 「定義」を表す簡体字。日本語の「定義(定義する)」と直結し、中国語でも「定义」と書く。
   * 学習コスト: 「定」は既出で再利用可能。「义」(3画＋変形部含め計5画程度)も頻度が高く、比較的学習しやすい。
4. disting / 区分 /
   * 選定理由: 「判別する」「区別する」に相当する常用表現の一つ。中国語でも「区分」「区别」などが用いられる。
   * 学習コスト: 「区」(4画)と「分」(4画)の組合せで、合わせても8画と少なく抑えられる。
5. pek / 罪 /
   * 選定理由: 宗教的・道徳的な“罪(つみ)”を表すのに、最も直接的な単字。中国語でも「犯罪」「罪恶」など “罪” は広く用いられる。
   * 学習コスト: 13画でやや多いが、“罪”という概念を一文字で示せる利点が大きい。
6. kulp / 罪 /
   * 選定理由: 「罪のある」「有罪の」「責任がある」ニュアンス。上記(pek)と同じ字を当て、区別は上付き文字などで対応する。
   * 学習コスト: 既出の「罪」を再利用することで、追加の漢字学習を不要にできる。
7. krim / 罪 /
   * 選定理由: “犯罪”そのものを意味する語根。中国語の「犯罪」「罪行」など、いずれも「罪」を含む。
   * 学習コスト: 同じく「罪」を使い回すことで、漢字種類を増やさずに済む。
8. pun / 罚 /
   * 選定理由: “罰する”を表す簡体字。中国語で「惩罚(ちょうばつ)」の後半にも用いられ、“罰”の意味が分かりやすい。
   * 学習コスト: 9画程度で、処罰や罰金(罚金)等でも頻出するため比較的覚えやすい。
9. kondamn / 判 /

* 選定理由: “有罪判決を下す・罪を宣告する”ニュアンスから、「判(決)」や「判罪」などに繋がる核心字を選定。
* 学習コスト: 7画と少なく、裁判関連で頻繁に登場する。

1. kriminal / 刑 /

* 選定理由: “刑事上の”を表す。中国語の「刑事」「死刑」などで使われ、“犯罪・刑罰”分野で広い意味を持つ。
* 学習コスト: 6画と比較的少なく、刑法や刑事関連で汎用性が高い。

1. ekzekut / 处决 /

* 選定理由: “死刑を執行する”標準表現。中国語でも「处决」は「死刑執行」「処刑」の意味で使われる。
* 学習コスト: 「决」は既出(「decid」)で再利用。「处」(5画)も比較的画数が少ない。

1. akt / 幕 /

* 選定理由: 演劇の「幕(まく)」を示す単字。中国語でも「帷幕(幕)」「开幕(開幕)」など、演劇シーンに馴染みが深い。
* 学習コスト: 13画と少なくはないが、演劇における“act=幕”として最も直接的。

1. proces / 诉讼 /

* 選定理由: 法的な“訴訟”を表す標準的用語。「诉」(7画)＋「讼」(5画)で、いずれも裁判関連でよく使われる。
* 学習コスト: 合計12画だが、法的文脈で頻出するため妥当と判断。

1. procedur / 程序 /

* 選定理由: “[法]訴訟手続”に限らず“手続・進行手順”を指す中国語の代表的な単語。
* 学習コスト: 「程」(12画)＋「序」(7画)で計19画とやや多めだが、“手続”全般に使えて汎用性が高い。

1. konstituci / 宪法 /

* 選定理由: 中国語で“憲法”を指す最も一般的な表記。日本語の「憲法(けんぽう)」とも対応。
* 学習コスト: 「宪」(9画)＋「法」(8画)＝17画。憲法関連で頻繁に目にする用語。

1. leĝ / 法律 /

* 選定理由: “[法]法律”そのものを示す最も標準的な2文字表現。
* 学習コスト: 「法」(8画)は既出と組合せやすく、「律」(9画)も法律用語で頻出。

1. jur / 法 /

* 選定理由: 法学・法そのものを広く表すシンボルとして単字「法」を割当。
* 学習コスト: 既出の「法」を再利用でき、追加学習不要。

1. arbitraci / 仲裁 /

* 選定理由: “仲裁(ちゅうさい)・調停”を意味する中国語の代表的表現で、正確に“arbitrate”をカバーする。
* 学習コスト: 「仲」(6画)＋「裁」(12画)でやや多いが、法律・紛争調停で使われるため妥当。

1. juĝ / 审判 /

* 選定理由: “法裁判する”＝「審判(しんぱん)」の標準表現。
* 学習コスト: 「审」(7画)＋「判」(7画)＝14画。すでに「判」は他でも利用済み。

1. verdikt / 判决 /

* 選定理由: “[法]判決”をそのまま示す中国語の代表的用語。
* 学習コスト: 「判」(7画)＋「决」(6画)＝13画。どちらも既出で再利用できる。

1. tribunal / 法院 /

* 選定理由: “[法]裁判所”＝「法院」が最も一般的(制度・建物としての“court”)。
* 学習コスト: 「法」は既出再利用。「院」(9画)は常用字で、病院・学院などでも用いられ汎用性が高い。

1. instanc / 审级 /

* 選定理由: “[法]審級”を示す専門用語。中国語では“第一审”“第二审”等と言う際の“审级”が対応。
* 学習コスト: 「审」は既出、「级」(6画)は比較的簡単な常用字。

1. rit / 礼 /

* 選定理由: “[宗]儀式、礼拝、礼節”など“ritual”の要素が強い単字。「礼儀」「礼拝」など幅広く用いられる。
* 学習コスト: 5画と少なく、意味合いも“儀礼”に通じるため日中双方で連想しやすい。

1. ceremoni / 仪式 /

* 選定理由: “儀式”の標準的書き方。「仪」(5画)＋「式」(6画)＝11画で“ceremony”に最適。
* 学習コスト: 「式」は今後「正式」「形式」にも転用可能で汎用性が高い。

1. oficial / 正式 /

* 選定理由: 「公式の」「オフィシャルな」の意味に最も近い2文字表現。中国語で「正式」は“正規・公式”のニュアンス。
* 学習コスト: 「正」(5画)は常用字、「式」(6画)も上記(25)で登場済みのため再利用しやすい。

1. formal / 形式 /

* 選定理由: 「外形的な」「形の上での」「形式的な」に対応する中国語「形式」が妥当。
* 学習コスト: 「形」(7画)＋「式」(6画)＝13画。「式」は既出で、日常語でも多用される組合せ。

1. regul / 规 /  
   選定理由: 「规则(guīzé)＝規則」を連想させる簡体字。画数(6画)も比較的少なく、日本語の「規」とも対応しており意味を推測しやすい。  
   学習コスト: すでに他の「規○」系語彙にも転用可能で、汎用性が高い。
2. disciplin / 律 /  
   選定理由: 「纪律(jìlǜ)＝規律」の後半にあたる「律」を単字化。元々「法律」「律動」のように“規律・法則”を含意する文字。  
   学習コスト: 画数(9画)はそこそこだが、日本語にも「律(リツ)」としてなじみがあるので比較的覚えやすい。
3. norm / 准 /  
   選定理由: 「标准(biāozhǔn)＝標準」の後半に含まれる「准」を単字化。“基準/許可/準じる”といった意味を担う。  
   学習コスト: 画数(10画)はやや多めだが、日本語の「準(ジュン)」と対応し、意味連想がしやすい。
4. kriteri / 准 /  
   選定理由: 上記 norm と同様に“基準・規準”のイメージ。「criterion」に近い用法としても「标准」の一部「准」で代用可。  
   学習コスト: 同じく「准」を再利用することで、新規漢字を増やさずに済む。
5. tip / 型 /  
   選定理由: 「タイプ・典型」を表す簡体字としては「典型(diǎnxíng)」の「型」がわかりやすい。“〜型”で「タイプ」を示す用法も日中で共通。  
   学習コスト: 画数(9画)でやや中程度だが、日本語の「〜型」にも通じるため習得は容易。
6. ordinar / 常 /  
   選定理由: 「普通」「平常」のイメージ。“常に”のニュアンスを含むため、「普通」「平常」と近い語感を単字で表せる。  
   学習コスト: 画数(11画)は中程度だが、日本語の「常(つね)」「常(ジョウ)」と対応し覚えやすい。
7. normal / 常 /  
   選定理由: 「正常(zhèngcháng)」の後半「常」を流用。“正常・常態”というニュアンスで「normal」を単字化。  
   学習コスト: 既出の「常」を再利用することで学習コストを抑える。
8. ortodoks / 正 /  
   選定理由: 「正統(zhèntǒng)」の「正」に着目。中国語でも「正」は“正しい/正規/本流”などの意味を担いやすい。  
   学習コスト: 画数(5画)が少なく、日本語でも「正(ただ-しい/セイ)」と馴染み深い。
9. tradici / 传统 /  
   選定理由: 中国語で「传统(chuántǒng)＝伝統」は最も標準的な表現。単字で「传」や「统」だけでは“伝統”のニュアンスが弱まるため熟語を採用。  
   学習コスト: 「传(伝)」と「统(統)」はいずれも日本語の対応字があり、意味連想しやすい。2文字だが使用頻度が高く妥当。
10. mor / 俗 /  
    選定理由: 「风俗(fēngsú)＝風俗」の後半「俗」を単字化。“習俗・世俗”的な含みがあり、「風俗」「慣習」のニュアンスとも近い。  
    学習コスト: 画数(9画)は中程度。日本語でも「俗(ゾク)」という熟語で使われ、概念をイメージしやすい。
11. kutim / 习惯 /  
    選定理由: 「习惯(xíguàn)＝習慣」は中国語の標準的な表現。単独の「习」や「惯」だけではニュアンスが片寄るため2文字熟語を選択。  
    学習コスト: 「习」は3画で非常に簡単、「惯」(11画)も「慣」と対応しており、日本人にも意味は取りやすい。
12. rutin / 常规 /  
    選定理由: 「常规(chángguī)＝慣例/ルーティン/常套」として使われる標準的表現。  
    学習コスト: 「常」「规」は既出の2字で構成(「ordinar」=常,「regul」=规)。新規文字を増やさずに済む。
13. kiel / 如 /  
    選定理由: 中国語で「如(rú)」は“〜のように/もし〜ならば”など「like/as/if」を表せる字。  
    学習コスト: 画数(6画)で比較的少なく、日本語でも「如し(ごとし)」という古語から意味を連想可能。
14. kiel## / 如 /  
    選定理由: 上記 kiel と同様の意味領域を指すため、同じ「如」を再利用。  
    学習コスト: 新規字なし。上付き文字等で区別可能。
15. iel / 若 /  
    選定理由: 「若(ruò)」は「もし〜ならば」「〜のように」を含意する古風な単字で、“何らかの方法で(どうにか)”のニュアンスを含む一字としても用いられる。  
    学習コスト: 画数(8画)はまずまず。やや文語的な印象だが「若(ジャク/ニャク)」として日本人にも馴染みがある。
16. tiel / 如 /  
    選定理由: kiel の “〜のように”と類似し、「あのように/そのように」を表すにも「如」は流用可能。  
    学習コスト: 既出の「如」を再利用。
17. tiel ĉi## / 如 /  
    選定理由: 「このように」のニュアンスでも「如」を踏襲可。  
    学習コスト: 同じく再利用。
18. recept / 方 /  
    選定理由: 「処方(药方)」「レシピ」「作り方」を示すときの「方(fāng)」は中国語でも“方法/処方”を指す要素として機能。  
    学習コスト: 画数(4画)と少なく、日本語でも「方(かた/ホウ)」で“やり方/処方”の意味を推測可能。
19. manier / 方 /  
    選定理由: 「やり方」「方法」を単字で最も簡潔に表せるのが「方」。  
    学習コスト: 同上。「方」を再利用し、新規文字を増やさない。
20. metod / 法 /  
    選定理由: 「方法(fāngfǎ)」「手法」などに使われる「法」は“やり方/法則”をストレートに示す。  
    学習コスト: 画数(8画)はやや中程度だが、日本語の「法(ホウ)」との意味対応が明確。
21. direkt / 方 /  
    選定理由: 「方向(fāngxiàng)＝ディレクション」の「方」部分を単字化。“方向/方角”の感覚をシンプルに表せる。  
    学習コスト: 既出の「方」。
22. konduk / 导 /  
    選定理由: 「领导(lǐngdǎo)」「引导(yǐndǎo)」などの「导(導)」で“導く/リードする”を表す。  
    学習コスト: 画数(6画)と少なめ。日本語の旧字体「導」とも対応し意味がつかみやすい。
23. gvid / 导 /  
    選定理由: 上記と同じく“案内する/ガイドする”も「导」で十分カバー可能。  
    学習コスト: 既出文字「导」を再利用。
24. preskrib / 处方 /  
    選定理由: 医療文脈での「処方」に最も直接的なのは「处方(chǔfāng)」。単字「方」だけでは曖昧になるため2文字熟語を採用。  
    学習コスト: 「处」は5画で比較的簡単。「方」は既出。合計2文字ながら頻出度は高め。
25. komand / 令 /  
    選定理由: 「命令(mìnglìng)」「指令(zhǐlìng)」など“指揮・命令”に共通する要素は「令」。  
    学習コスト: 画数(5画)が少なく、日本語でも「令(レイ)」で命令を連想できる。
26. ordon / 令 /  
    選定理由: 「命令」「指令」のイメージに同じ「令」を充当。“(を)命令する”ニュアンスを単字化。  
    学習コスト: 既出の「令」を再利用。
27. instrukci / 令 /  
    選定理由: 指示・指令としてまとめて「令」。実際の中国語でも「指令」「命令」が並列的に使われる。  
    学習コスト: 既出文字により新規漢字を増やさずに済む。

kre / 创 / 「創造」の意。日本語「創」、中国語「创造」等で馴染みがあり、意味を連想しやすい / 「fond」「establ」などとも同じ「创」を使い回し、学習コストを抑制

1. konstru / 建 / 「建造」の意。日本語「建」、中国語「建设・建造」等で馴染みが深い / 「创」との混同を避け、建築・構築専用で「建」を割り当て
2. fond / 创 / 「創立」の意。日本語「創立」、中国語「创立・创建」等で使われる / 「kre」「establ」と同一文字にすることで学習負担を軽減
3. establ / 创 / 「設立・創立」の意。中国語「设立・创立」、日本語「創設」などに対応 / 「kre」「fond」と重複利用し、一括で学習可能
4. struktur / 构 / 「構造」の意。中国語「结构・构造」、日本語「構造」の「構」に相当 / よく使われる偏旁「勹」や「木」を避けたが、単字で「構造」に最も近い「构」を選定
5. aranĝ / 排 / 「並べる・整える」の意。中国語「排列・安排」などで“配置・段取り”を示唆 / 単字「整」は画数が多いため、比較的画数少なめの「排」を優先
6. organiz / 组 / 「組織する」の意。中国語「组织」、日本語「組織」の「組」に相当 / 簡体字「组」は画数も少なく汎用性が高い
7. rekompenc / 酬 / 「報酬・報いる」の意。中国語「报酬・酬劳」、日本語「報酬」などに近い / 「honorari」「salajr」と同じ文字にして学習コストを削減
8. honorari / 酬 / 「謝礼金・報酬」の意。上記同様、中国語「酬金・酬谢」、日本語「謝礼」に対応 / 「rekompenc」と同字割当で学習負担を減らす
9. pag / 付 / 「支払う」の意。中国語「付钱・付款」、日本語「払う」とも関連 / シンプルな５画で覚えやすい
10. salajr / 酬 / 「給料・賃金」の意。中国語「酬劳」などでも給与の意味合いを含む / 「rekompenc」「honorari」と同じく「酬」で集約
11. kotiz / 费 / 「会費・費用」の意。中国語「费用・会费」、日本語「費」に相当 / 「費」(繁体)に近い簡体字。金銭関連で汎用性が高い
12. rent / 租 / 「賃貸料・家賃」の意。中国語「租金」、日本語「賃料」に対応 / 単字「租」は比較的わかりやすい
13. donac / 礼 / 「贈り物・礼物」の意。日本語「礼」、中国語「礼品」に通じる / 画数5画で比較的シンプル
14. premi / 奖 / 「賞品・授賞」の意。中国語「奖金・奖品」、日本語「賞与」などに対応 / 表彰・賞賛に用いられる分かりやすい字
15. almoz / 施 / 「施し・布施」の意。中国語「施舍」、日本語「施し」に近い / 「舍」単独では意味が弱いため、上位概念の「施」を採用
16. dot / 嫁妆 / 「持参金・嫁入り道具」の意。中国語「嫁妆」、日本語「嫁入り道具」に相当 / 単字で対応する漢字が乏しいため2文字熟語に
17. kontribuci / 赔 / 「賠償金」の意。中国語「赔偿」、日本語「賠償」に対応 / 軍事賠償・弁償などに繋がる「赔」を採用
18. stipendi / 奖 / 「奨学金・給付金」の意。中国語「奖学金」、日本語「奨学金」に通じる / 「premi」と同字の「奖」に集約し学習負担を低減
19. subvenci / 补 / 「補助金・補助する」の意。中国語「补助」、日本語「補助」に通じる / 単字「补」は7画で比較的シンプル
20. ukaz / 令 / [史]皇帝(ツァーリ)の勅命。中国語「命令」、日本語「命令」に近い / 下記「imperativ」「edikt」「dekret」と同字にして学習を一括化
21. imperativ / 令 / [文法]命令法。中国語「命令式」、日本語「命令形」に近い / 「ukaz」等とまとめて「令」で共通化
22. testament / 遗嘱 / [法]遺言。中国語「遗嘱」、日本語「遺言書」に対応 / 単字で対応が難しいため2文字熟語を採用
23. edikt / 令 / 「勅令・布告」の意。中国語「法令」、日本語「勅令」に近い / 「ukaz」「imperativ」等と同じ「令」を使用
24. dekret / 令 / 「政令・法令」の意。中国語「法令」、日本語「政令」に通じる / 他の命令系単語と共通の「令」を再利用
25. pretekst / 借口 / 「口実・言い訳」の意。中国語「借口」、日本語「言い訳・口実」に相当 / 単字では表しにくいため2文字熟語
26. argument / 论 / 「論証・主張」の意。中国語「论点・议论」、日本語「論」に通じる / 画数6画と少なく、意味も分かりやすい

demonstraci

* + 提案: 证明
  + 理由: 「証明」に相当し、論証・実証・デモンストレーションの意味を広くカバーできる標準的な表現。
  + 学習コスト: 「证(證)」「明」はどちらも頻出漢字。日本語の「証明」と近く、イメージしやすい。

1. pretend
   * 提案: 要求
   * 理由: エスペラントの “pretendi” は「権利を要求する・主張する」というニュアンス。中国語の「要求」は「求める・権利を要求する」意味に近い。
   * 学習コスト: 「要」「求」はいずれも画数が比較的少なく、既出・再利用もしやすい。
2. pled
   * 提案: 辩护
   * 理由: 法廷などで(被告を)弁護する、という文脈に最も近い。恳求(懇願)よりも「法的に弁護する」ニュアンスが強い。
   * 学習コスト: 「辩(辯)」はやや画数多めだが、法律関係の語彙で汎用性が高い。「护」は「保護、守る」の意味でよく使われる。
3. apelaci
   * 提案: 上诉
   * 理由: 裁判における「上訴する」「控訴する」という意味の中国語表現。
   * 学習コスト: 「上」「诉」は比較的シンプル。「诉」は法律用語で再利用されやすい。
4. admon
   * 提案: 劝告
   * 理由: 「言い聞かせる・諭す・(やや強めに)注意する」ニュアンス。中国語では「劝告」がもっとも一般的。
   * 学習コスト: 「劝」は日本語の「勧」にあたる簡体字で、画数も少なく、「告」も既出候補で使いやすい。
5. konvink
   * 提案: 说服
   * 理由: 「(相手を)説得して納得させる」意味で最も標準的な表現。
   * 学習コスト: 「说(説)」「服」はいずれも常用字。「说服」は日本語の「説得」とほぼ対応し、学習者にも連想しやすい。
6. asert
   * 提案: 断言
   * 理由: 「断定的に言う」「強い調子で言い切る」意味を直接表す常用表現。
   * 学習コスト: 「断」「言」はどちらも基本的な漢字で、他の単語にも転用可能。
7. konfes
   * 提案: 坦白
   * 理由: 「罪・非を包み隠さず認める」という「告白する」ニュアンスを端的に示す語。
   * 学習コスト: 「坦」「白」は比較的頻出。「坦白」は「正直に打ち明ける」という意味で使いやすい。
8. akuz
   * 提案: 控告
   * 理由: 法的に「告発する」「起訴する」「責める」などの意味合いを含む標準的な表現。
   * 学習コスト: 「控」「告」はそれぞれ法律や警告関連で汎用的に使われる。
9. denunc
   * 提案: 告发
   * 理由: 「公的機関や社会に向けて(悪事を)告発する・暴露する」という意味で広く使われる。
   * 学習コスト: 「告」「发(發)」はどちらも常用で画数も比較的抑えめ。
10. akompan
    * 提案: 陪同
    * 理由: 「同行する・付き添う」の意味をシンプルに表す常用語。
    * 学習コスト: 「陪」「同」は比較的単純かつ頻用される漢字。
11. obe
    * 提案: 服从
    * 理由: 「服従する」意味として最も一般的な中国語表現。
    * 学習コスト: 「服」「从」はどちらも別の単語でも使われ、学習再利用しやすい。
12. observ
    * 提案: 观察
    * 理由: 「観察する」の基本語。遵守(規則を守る)の意味は派生的だが、最頻度の「観察する」用法に合わせた。
    * 学習コスト: 「观(觀)」「察」はいずれもよく出る組み合わせ。
13. dev/ont/ig##
    * 提案: 未対応
    * 理由: 語根ではなく(品詞分解上の)要素混在のようで、対応する中国語が明確でないため。
    * 学習コスト: ―
14. promes
    * 提案: 承诺
    * 理由: 「約束する」という意味でよく使われる。「答应」「许诺」などもあるが、承诺がややフォーマルで分かりやすい。
    * 学習コスト: 「承」「诺(諾)」はいずれも常見漢字で、他の契約関連などでも再利用可。
15. ĵur
    * 提案: 发誓
    * 理由: 「誓う」「誓約する」の口語的・標準的な言い方。「誓言」でも可。
    * 学習コスト: 「发(發)」「誓」はどちらも比較的イメージしやすい。
16. destin
    * 提案: 预定
    * 理由: 「あらかじめ予定する」「(用途を)割り当てておく」の意味。「注定」(運命付ける)も近いが、予定・割当のニュアンスを重視。
    * 学習コスト: 「预(預)」「定」は頻繁に使われる組み合わせ。
17. komisi
    * 提案: 委托
    * 理由: 「委託する」「任せる」の最も標準的な表現。
    * 学習コスト: 「委」「托」は他の契約・任務関連で使う可能性があり、汎用性がある。
18. asign
    * 提案: 分配
    * 理由: 「(割り当てて)分配する」ニュアンスを端的に表す。指派(人を割当てる)も近いが、より広い「割当」なら分配が妥当。
    * 学習コスト: 「分」「配」は画数が少なく、他でも使用頻度が高い。
19. atribu
    * 提案: 归因
    * 理由: 「原因・性質を(…に)帰する」「～のせいだとみなす」という典型的な表現。
    * 学習コスト: 「归(歸)」「因」ともに比較的シンプル。派生語「原因」などでも利用しやすい。
20. don
    * 提案: 给
    * 理由: 「与える」意味で最も基本的かつ常用の1文字動詞。
    * 学習コスト: 画数は9画だが、「给(給)」は非常に頻出し、学習効果が高い。
21. ofert
    * 提案: 提供
    * 理由: ビジネス面で「提供する／オファーする」ときにもっとも使われる言い方。
    * 学習コスト: 「提」「供」は他の語根(供給・提示など)でも転用しやすい。
22. liver
    * 提案: 供应
    * 理由: 「供給する」「(商品や物資を)提供する」ニュアンスが強い表現。
    * 学習コスト: 「供」「应(應)」はいずれも非常に常用で、再利用性が高い。
23. el/don##
    * 提案: 出版
    * 理由: 「出版する」という意味で最も直接的な常用語。
    * 学習コスト: 「出」「版」はどちらも基礎的な漢字で、印刷・発行関連に再利用可能。
24. deleg
    * 提案: 派遣
    * 理由: 「(代表を)派遣する」「送り出す」意味の中国語表現として定番。
    * 学習コスト: 「派」「遣」はやや画数が多いが、公的・ビジネス用語で汎用性がある。
25. send
    * 提案: 送
    * 理由: 「送る」「届ける」という意味を単独1文字で表す最も基本的な語。
    * 学習コスト: 画数9画だが、非常に汎用的で「送信」「邮送」など派生利用しやすい。
26. eksped
    * 提案: 发送
    * 理由: 「発送する・送付する・(品物などを)出荷する」ニュアンス。単独の「送」より“発”と組み合わさることで「送り出す」ニュアンスを強調。
    * 学習コスト: 「发(發)」「送」は既出も多く、併用しやすい常用表現。

mandat / 汇 / 「匯票」「汇款」など“送金・為替”を連想しやすいため / 比較的画数が少なく金融関連で汎用しやすい

1. spez / 出纳 / 出納(しゅつのう)や金銭管理を指す標準的表現 / 2文字だが中国語で広く通用、学習コストも比較的低め
2. ĝir / 转账 / “振替・振込”を意味する日常的な中国語 / 2文字だがビジネスや銀行取引で頻出のため汎用性は高い
3. kvitanc / 收据 / 領収書に対応する一般的な単語 / 2文字だが「收(受け取る)＋据(証拠)」の組合せで分かりやすい
4. mend / 订 / “注文する”という意味を端的に示す / 1文字で済むうえに「予約」「購入」関係でもよく使われる
5. abon / 订阅 / “予約購読(サブスク)”を表す / 「订」を再利用しつつ「阅(読む)」を加えて明確化
6. opi / 鸦片 / アヘンを指す標準的呼称 / 2文字だが薬物関連では最も一般的で分かりやすい
7. aniz / 茴香 / アニス(アニスシード)を指す際の代表的名称 / 料理・香辛料分野で比較的知られた表記
8. anilin / 苯胺 / アニリンの正式な化学名 / 2文字だが化学用語として確立している
9. anten / 天线 / アンテナの意味で中国語ではこちらが通例 / 2文字ながら「天＋线」でイメージしやすい
10. ann / 安 / 女性名Annの音訳としてよく使われる / 1文字で「平安」「安心」などの連想もあり親しみやすい
11. anton / 安东 / 男性名Antonの一般的な音訳 / 既出の「安」を再利用し、新規は「东」(東)のみ
12. amik / 友 / 友達・友人を端的に表す / 1文字でシンプルかつ日本人にも馴染みが深い
13. kamarad / 伙伴 / 仲間・同志・バディを指す日常表現 / 2文字だが口語的にも頻繁に使用
14. koleg / 同事 / 同僚・同業者を表す最も一般的な語 / 2文字だが中国語として定着度が高い
15. gast / 客 / 客(ゲスト)の意味をダイレクトに示す / 1文字で済むので学習コスト低
16. klient / 客 / 顧客にも「客」を再利用 / gast と同一漢字割当だが上付き文字などで区別予定
17. lake / 仆 / 従僕を表す簡体字 / 1文字で servant の意味が通じやすい
18. adept / 信徒 / 信奉者・支持者を示す / 2文字だが「信＋徒」は漢字圏でも意味が明快
19. disĉipl / 弟子 / 弟子・弟子入りなどを表す / 2文字ながら極めて一般的
20. viv / 生 / “生きている”“生命”を表す最も基本的な1文字 / 多義だが生命系の語彙として直感的
21. loĝ / 住 / “住む・居住する”の意味 / 1文字で簡潔、動詞イメージが伝わりやすい
22. vilaĝ / 村 / “村”をそのまま1文字で / 日本語と同形で直感的
23. dom / 房 / “家・建物(ハウス)”としての意味 / “家”との区別をつけるためあえて「房」を採用
24. hejm / 家 / “家庭・家”を指す / dom との使い分けを考慮してこちらを「家」に
25. famili / 家族 / 家族を直接的に示す / 既出の「家」を再利用＋「族」で意味を明確化
26. ia / 某种 / “ある種の…”“何らかの種類の…”を示す日常表現 / 2文字だが中国語でごく一般的

iu## / 某 /  
選定理由: 「ある(不特定)の人・もの」を指す不定代名詞。中国語で「某」は「ある〜」「不特定〜」の意味に用いられるため妥当。日本語でも「某(なにがし)」として不特定を示す漢字として認識可能。  
学習コスト: 画数(9画)はやや多めだが、再利用価値が高く、不特定を表す語根に広く転用可能。

1. ies / 某的 /  
   選定理由: 「だれかの〜(不特定所有)」を表すため、上記「某」に加えて所有・修飾を表す「的」を付与。中国語でも「〜的」は所有・修飾を示す最頻出用法。  
   学習コスト: 「某」と「的」はいずれも常用かつ再利用頻度が高いため追加負担は比較的小さい。
2. iu / 某 /  
   選定理由: #1「iu##」と同様、「不特定の人・もの」を意味する語根なので同じ「某」を再利用。  
   学習コスト: すでに登場済みの「某」を使い回すことで新規学習負担を抑制。
3. tiu ĉi## / 这 /  
   選定理由: 「この(個別の)人・もの」を指す。中国語の「这(這)」は“これ・この”を表す代表的な簡体字であり、日本語でも「これ(此れ)」のイメージで把握しやすい。  
   学習コスト: 画数は7画と中程度だが、きわめて高頻度かつ今後も「ここ」「この」といった指示で再利用される可能性が高い。
4. ties / 那的 /  
   選定理由: 「あれ/それの(所有)」という意味。中国語で「那」は「あれ/それ」、所有を示すため「的」を付加。「那的」という形は日常的な漢文法とは異なるが、“あちらの(もの)の”というニュアンスは把握しやすい。  
   学習コスト: 「那」「的」とも既出または汎用度が高い漢字であり、追加負担は少ない。
5. tiu## / 那 /  
   選定理由: 「あの(個別)」「その(個別)」を指す語根。中国語の「那」は「それ・あれ」を意味する簡単な指示代名詞。  
   学習コスト: 既に #5 で「那」が登場しており、新規負担は少ない。
6. tiu / 那 /  
   選定理由: #6 と同じく「その/あの」指示語として「那」を再利用。  
   学習コスト: 重複利用のため学習コスト増なし。
7. ci / 你 /  
   選定理由: エスペラントの「ci」は二人称単数の親称(古風・馴染みの薄い形)だが、中国語では「你」(あなた/君)が最もポピュラー。「vi」と区別したい場合でも、上付き文字などで区別可能。  
   学習コスト: 「你」は中国語の基本単語。日本語でも「你」はあまり見ないが、見た目で二人称を表す漢字と推測しやすい。
8. vi / 你 /  
   選定理由: エスペラントでは標準的な二人称(単複同形)。「你」は「あなた/あなたがた」に相当。#8 と同字を再利用。  
   学習コスト: 重複利用によりコストを低減(実運用では区別記号を付す)。
9. ŝi / 她 /  
   選定理由: 彼女(女性)を示す三人称単数。「她」は中国語における女性代名詞で広く使われる。日本語学習者も「她=彼女」のイメージを把握しやすい。  
   学習コスト: 9画と中程度だが、頻出代名詞として妥当。
10. li / 他 /  
    選定理由: 彼(男性)を示す三人称単数。「他」は中国語で三人称の基本。「他」=男性代名詞のイメージは日本語話者にも伝わりやすい(「彼」に近いニュアンス)。  
    学習コスト: 5画と比較的少なく、再利用価値も高い。
11. ni / 我们 /  
    選定理由: 「私たち」を示す複数形。中国語の一人称複数は「我们」が最も自然。  
    学習コスト: すでに「我」は後述(#14)で使用予定。「们」は簡体字で5画とそこまで多くないが、新字としては登場。とはいえ中国語圏では最頻出の人称複数化。
12. ego / 自我 /  
    選定理由: 「自我」という語感は日本語・中国語どちらでも「自我」と表せば通じやすい。  
    学習コスト: 「自」(6画)「我」(7画)はいずれも基本漢字で、再利用価値も高い。
13. mi / 我 /  
    選定理由: 「私」を示す単数形。中国語の基本的な一人称単数代名詞は「我」。  
    学習コスト: 既出(#12, #13)との兼ね合いで「我」を重複利用。頻度も高く学習必須の文字。
14. unu / 一 /  
    選定理由: 数字の「一」。最も画数が少なく、中国語・日本語いずれでも馴染み深い。  
    学習コスト: 画数1で極小。必須漢字。
15. da / 的 /  
    選定理由: エスペラントの "da" は数量詞と名詞をつなぐ前置詞的役割だが、中国語で類似の機能を最も汎用的に担うのが「的」。厳密には文法用法が異なる部分もあるが、連体・所有のマーカーとして最頻出。  
    学習コスト: 既出(#2, #5)の「的」を再利用。学習負担なし。
16. graved / 孕 /  
    選定理由: 「妊娠した」の意。中国語で「怀孕(懷孕)」「妊娠」などが一般的だが、1字で画数を抑えるなら「孕」(5画)を採用可。単独形容としてはやや省略的だが、エスペラントの意味合いを簡潔に示せる。  
    学習コスト: 5画と比較的少なめ。将来的に「妊」「怀」などとの組合せも検討可。
17. embri / 胚 /  
    選定理由: 「胎児/胚/胚子」を表す。中国語では「胚」「胎」などが該当。「embri(エンブリオ)」→「胚(embryo)」と対応づける。  
    学習コスト: 8画だが、生物学関連で「胚」は認知度も高い。日本語でも「胚芽(はいが)」の「胚」から連想可能。
18. infan / 子 /  
    選定理由: 「子ども」。現代中国語だと「孩子」「儿童」等が一般的だが、なるべく1字にまとめ学習コストを低減。「子」は古来「児童」「こども」の意にも使われる。  
    学習コスト: 3画で非常に少ない。既出・再利用の機会も多い(名詞化語尾など)。
19. beb / 婴儿  
    選定理由: 「赤ん坊、乳児」。最も標準的な現代中国語表現は「婴儿(嬰兒)」。1字のみ「婴」だと実際は単独使用にやや難ありなので、2字熟語で明確化。  
    学習コスト: 「婴」(11画)と「儿」(2画)で計13画とやや多め。ただし「儿」は簡体字で頻用、赤子のイメージは掴みやすい。
20. fraj / 卵 /  
    選定理由: [生] 卵塊・魚卵など「産卵する卵」を指す。「ov(卵)」と同じく「卵」を使い回し、必要時に上付き文字などで区別。「鱼卵」なども考えられるが、文字数削減を優先。  
    学習コスト: 既出(#22)「卵」と同一漢字を再利用し、新規負担を抑える。
21. ov / 卵 /  
    選定理由: 「卵(一般)」。日常中国語では「蛋」の方が多いが、日本語圏にもなじみの深い「卵」を採用。簡体字も同形。  
    学習コスト: 7画、#21 と統一して使用。
22. sem / 种子  
    選定理由: 「[植] 種子」。中国語では「种子」が最も一般的。「種子(日本語)」とよく対応するためイメージしやすい。  
    学習コスト: 「种」(9画)新出だが農作物関連など再利用範囲あり。「子」は#19 で既出。
23. ĝerm / 芽 /  
    選定理由: 「胚芽、萌芽、発芽する」等のニュアンス。「芽」は植物が発芽するイメージを素直に伝えやすい。  
    学習コスト: 8画。既出の「子」などとは別だが、園芸・生物関連で汎用しやすい。
24. burĝon / 芽 /  
    選定理由: 「芽、つぼみ」。#24「ĝerm」と意味が近いため、同じ「芽」を割り当てて区別は上付き文字などで対処。  
    学習コスト: 新規負担なし(同字再利用)。
25. parenc / 亲 /  
    選定理由: 「親族・血縁・親戚」。中国語で「亲戚」「亲属」などに含まれる「亲(親)」。日本語の「親(おや)」とも近い字形(ただし簡体字)。  
    学習コスト: 9画で中程度。「親」の簡体字と認知できれば意味も推測しやすい。
26. bo / 姻 /  
    選定理由: 「姻戚、姻族」を表す接頭辞。「婚姻」の「姻」が最も直接的。  
    学習コスト: 9画だが、日本語の「婚姻(こんいん)」にも登場し連想しやすい。

### 1) hered

swift

Copy

hered/继/「継承」を表す“继”を選定/学習コストは中程度(7画)だが「継承」の意味で直感しやすい

* 選定理由: 中国語で「继承」の「继」は「相続・継承」を直接表す文字。日本語の「継」に近い形で意味連想しやすい。

### 2) id

bash

Copy

id/子/子供・子孫を表す共通の概念「子」を流用/画数少(3画)で学習コストが低い

* 選定理由: 「子」は日中双方で「子ども」を示す基本漢字。接尾辞的に「～の子」をイメージしやすい。

### 3) primitiv

swift

Copy

primitiv/原始/「原(初)」＋「始(め)」で「原始的な」の意/「原」「始」は既出文字を活用でき学習コスト削減

* 選定理由: 単一文字で「primitive」を示すのは難しく、「原始」が最も一般的で分かりやすい。
* 既出文字: 「原」は 5),6) で使用予定、「始」は 15) で使用予定につき重複利用可。

### 4) pra

swift

Copy

pra/古/「古(いにしえ)」で「古代・太古」のニュアンスを表現/画数5画で比較的シンプル

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「古」で「古代/昔」を連想しやすい。

### 5) origin

swift

Copy

origin/原/起源や源泉のイメージ/既に「原始」「原作」などで広く使われるため学習コスト低減

* 選定理由: 中国語でも「原点・原本」のイメージで「origin」を示しやすい。

### 6) original

swift

Copy

original/原/「原作・原文・原型」の意味に対応/5)と同じ文字で重複利用

* 選定理由: 「origin」と「original」は本来近い概念のため、同一漢字「原」を転用して学習負担を下げる。

### 7) font

css

Copy

font/泉/泉＝「源泉」「噴き出る水」/比較的画数9画で覚えやすく「源」の代用にも

* 選定理由: 中国語・日本語で「泉」は「湧き出る水の源」を示し、フォントの語源「fountain」に近い。

### 8) radik

swift

Copy

radik/根/「根」「根源」の意味/日中ともに馴染みがあり覚えやすい

* 選定理由: 「根」は「ルート」「根本」の意味で直感的に合う。

### 9) baz

swift

Copy

baz/基/「基礎」「基地」などに使われる常用字/画数11画だが汎用性が高い

* 選定理由: 中国語「基地」「基础」など、基盤・基礎を表す際の主要漢字。

### 10) fundament

swift

Copy

fundament/基/9)「baz」と同様の意味領域/同じ「基」を再利用して学習負担を軽減

* 選定理由: 「基礎」の意味は「fundament」とほぼ重なるため、「基」を流用。

### 11) esenc

swift

Copy

esenc/质/「本質・実質」を表す“质”(日本語の「質」)/画数8画

* 選定理由: 「本質」＝「本(ほん)質(しつ)」の「質」にあたる部分で、中国語でも「本质」は「essence」の意。

### 12) princip

swift

Copy

princip/理/「原理・道理」を示す“理”/日本語でも「理」は「ことわり」を表す

* 選定理由: 中国語では「原理」「道理」、日本語でも「理論」「理屈」など、「principle」に相当する連想がしやすい。

### 13) ek

swift

Copy

ek/起/「起(きる)」「(行動を)始める」「(何かが)立ち上がる」イメージ/画数10画

* 選定理由: 短い接頭辞的に「開始」を示すなら「起」が分かりやすい。

### 14) iniciat

swift

Copy

iniciat/创/「創始・創案」のニュアンス/6画と比較的少画数

* 選定理由: 中国語「创(創)」は「始める」「新たに作る」の意を持ち、「発起・イニシアチブを取る」に近い。

### 15) komenc

swift

Copy

komenc/始/「始める」や「最初」の意/「開始」を直接連想しやすい

* 選定理由: 中国語でも「开始(kāishǐ)」の「始」、日本語でも「始(はじ)める」でわかりやすい。

### 16) start

sql

Copy

start/起/13)「ek」と同じく「動き出す」を表す「起」を再利用/学習コスト削減

* 選定理由: 「start」「begin」はほぼ同義なので「起」を使い回して統一。

### 17) apertur

swift

Copy

apertur/孔/「孔(あな)」「穴」「開口」を表す/画数4画でシンプル

* 選定理由: 「孔」は穴・開口部を意味し、カメラの「光圈(絞り)」などにも用いられる。

### 18) inaŭgur

swift

Copy

inaŭgur/开/「開く」「式を始める」の意で「开(開)」/4画と少なめ

* 選定理由: 「開会する」「(式を)開く」のイメージに即して「开」。

### 19) inaŭguraci

swift

Copy

inaŭguraci/开幕/「開幕式」の熟語を採用/具体的に「式を開始する」名詞句としてわかりやすい

* 選定理由: 2文字熟語だが「开(開)」は既出、新出は「幕」のみ。「开幕」は中国語で「式の開始」「開幕」を意味し、日本語でも同義。

### 20) membr

swift

Copy

membr/员/会員・メンバーを表す「员」/簡体字は7画

* 選定理由: 中国語「成员」「会员」などに使われる共通の「员(員)」は「member」系語に適合。

### 21) an

swift

Copy

an/员/20)と同じ「员」で会員・構成員・～の人 の意を接尾辞的に転用

* 選定理由: 「～のメンバー」という接尾辞は同じ「员」で統一して学習コスト削減。

### 22) er

swift

Copy

er/子/「粒子」「小片」のイメージ/2)「id/子」を再利用して総数抑制

* 選定理由: 中国語でも小さなものを示すとき「～子」と称することが多く、日本語でも名詞化接尾語として「～子」が馴染み深い。

### 23) element

swift

Copy

element/素/「要素」や「元素」の一部「素」を採用/10画

* 選定理由: 中国語「元素」や日本語「要素」「元素」で使う「素」。単独でも「根本的構成要素」をイメージしやすい。

### 24) ingredienc

swift

Copy

ingredienc/料/料理の「材料」「原料」を表す/10画

* 選定理由: 中国語・日本語いずれも「～料」で「材料・原料」＝「ingredient」をイメージしやすい。

### 25) ekip

swift

Copy

ekip/配/「配備」「装備」「支給」のイメージ/10画

* 選定理由: 中国語「配备(pèibèi)」や日本語「配(はい)備」で「装備する」の意味合いが強い。

### 26) aparat

swift

Copy

aparat/具/「器具」「道具」などに通じる/画数8画で「器(15画)」より少ない

* 選定理由: 「器」より画数が少なく、「用具・器具」の意味で「装置・アパラート」に近い。

### 27) rimed

sql

Copy

rimed/法/「方法」「手段」を表す「法」/日中ともに「method」「way」のニュアンスが強い

* 選定理由: 中国語の「办法(bànfǎ)」、日本語の「方法(ほうほう)」など「手段」を示す字として汎用性が高い。

instrument / 器 /  
理由: 中国語で「器」は道具・器具・楽器など多くの「器械・機器」を表し、日本語でも「器具」「楽器」などで用いられ意味が通じるため。  
学習コスト: やや画数は多いが、日本語・中国語双方で馴染みの深い常用字。

1. il / 具 /  
   理由: 中国語では「工具(道具)」や「用具」など、道具や手段を表す際に「具」を用いる。日本語でも「道具」「具体」で馴染みがある。  
   学習コスト: 画数は8画で比較的少なく、両言語圏で広く使われる字。
2. ĉio / 全 /  
   理由: 中国語で「全部」「全体」、日本語でも「全体」「完全」など、「すべて・全て」を示す字として馴染みがある。  
   学習コスト: 6画と少なく、「すべて」を表す字として分かりやすい。
3. tio / 那 /  
   理由: 中国語で「那」は指示詞「それ／あれ」に相当し、日本語でも地名(例: 那覇)などで見かけるため完全な未知字ではない。  
   学習コスト: 6画。中国語の「that」に最も一般的な字。
4. tio ĉi## / 这 /  
   理由: 中国語の「这(這)」は「これ」を示す最も基本的な語。  
   学習コスト: 簡体字「这」は7画。日本語の旧字形「這」と対応し、指示詞として直感的に理解しやすい。
5. nenio / 无 /  
   理由: 「无(無)」は「何もない」「存在しない」を表し、中国語・日本語ともに「無」の概念で通じる。  
   学習コスト: 4画と少なく、概念的にも分かりやすい。
6. kio / 何 /  
   理由: 「何」は「なに？」を表す漢字で、日本語・中国語双方で「疑問」を示す際に使われる。  
   学習コスト: 7画だが、日本語でも「何」として馴染みが深い。
7. io / 某 /  
   理由: 「某」は「ある～」「何らかの～」を表す字で、中国語でも「某物／某事」で「何か」を示す。  
   学習コスト: 9画ながら「特定できない何か」を表すのに適切。
8. produkt / 产 /  
   理由: 「产(產)」は生産・産出を表す字で、中国語では「产品(産品)」「生产(生産)」の基幹字。  
   学習コスト: 6画と比較的少なく、生産物を示すのにわかりやすい。
9. var / 货 /  
   理由: 「货(貨)」は「貨物・商品」などの意味を持ち、中国語で最も直接的に「商品・物資」を表す。  
   学習コスト: 8画。日本語では旧字「貨」に通じ、意味も取りやすい。
10. aĵ / 物 /  
    理由: 「物」は「もの」「事物」を示し、中国語・日本語ともに非常に基本的な字。  
    学習コスト: 8画だが、汎用性の高い常用字で「事物」を表すのに最適。
11. afer / 事 /  
    理由: 「事」は「物事」「出来事」「仕事」など、抽象的・具体的両面の「事柄」を表す。  
    学習コスト: 8画。前項(物)とは意味の棲み分け(有形／無形)がしやすい。
12. ŝtof / 布 /  
    理由: 「布」はそのまま「布地」「布切れ」を意味し、中国語でも「布料」で織物を表す。  
    学習コスト: 5画と少なく、簡潔でわかりやすい。
13. material / 材 /  
    理由: 中国語でも「材料」の主成分字で、日本語でも「材料」「木材」などで使われる。  
    学習コスト: 7画。両言語で「素材・材料」を連想しやすい。
14. objekt / 物 /  
    理由: 「object＝物体」の意味を「物」で再利用。有形の「対象」を表すため先に使った字を流用。  
    学習コスト: 既出の「物」をそのまま用いることで学習負担を抑える。
15. materi / 质 /  
    理由: 中国語「质(質)」は「本質・物質・内容」などを広く表し、英語の“matter”にも近い。  
    学習コスト: 8画。日本語「質」と同源で意味の対応がとりやすい。
16. substanc / 物质 /  
    理由: 「物质」は中国語で「物質」を指す標準的な言い方。すでに「物」「质」は登場済み。  
    学習コスト: 既出の「物」と「质」を組み合わせることで新規漢字ゼロ。
17. rekt / 直 /  
    理由: 「直」は「まっすぐ」「直接」「正直」など、直線・直立の含意を持ち、日本語・中国語で共通する。  
    学習コスト: 8画。意味がわかりやすく再利用もしやすい。
18. ort / 直角 /  
    理由: 中国語で「直角」は「直(まっすぐ)＋角(かど・角度)」の組合せ。  
    学習コスト: 「直」は既出。「角」(7画)のみ新規だが、漢語としては高頻度。
19. vertikal / 直立 /  
    理由: 中国語で「直立」は「まっすぐ立つ」「垂直の」の意。  
    学習コスト: 「直」は既出。「立」(5画)のみ新規で、今後も「建立」などで応用可能。
20. eben / 平 /  
    理由: 「平」は「平ら」「水平」「平和」など多義だが、「平坦・平らな」意味が両言語で共通。  
    学習コスト: 5画と少なく、非常に汎用性が高い。
21. plat / 平 /  
    理由: 「eben」とほぼ同義の「平らな」を再利用。「平板」「平面」なども連想しやすい。  
    学習コスト: 既出文字の再利用で混乱がある場合は上付きなどで区別予定。
22. horizont / 地平线 /  
    理由: 中国語で「地平线」は「地(大地)＋平(平ら)＋线(線)」で「地平線」を表す定番用語。  
    学習コスト: 「平」は既出。新規は「地」「线」の2字だが、ともに高頻度で学習価値は高い。
23. nivel / 水准 /  
    理由: 中国語「水准」は「水準・レベル・標準」の意味。日本語「水準」と同根で理解しやすい。  
    学習コスト: 新規で「水」「准」(＝準の簡体字)を導入。いずれも常用かつ後々汎用性が高い。
24. horizontal / 水平 /  
    理由: 中国語で「水平」は「水平的」「水平線の」の意。日本語でも「水平」は通じる。  
    学習コスト: 「水」「平」ともに既出漢字の組合せで新規はなし。
25. dors / 背 /  
    理由: 「背」は身体の「背中」を直接表す最も基本的な漢字。  
    学習コスト: 9画だが、日本語「背中」でも同じ形を用いるので理解されやすい。
26. fon / 背景 /  
    理由: 中国語「背景」は「back＋scene(景)」で「背景」を意味する標準的表現。  
    学習コスト: 「背」は既出。「景」は新規(12画)だが、「景色」などで使用頻度が高い。

1) fasad/正面/建築物の正面（ファサード）を示すのに広く使われる表現/「正」「面」はどちらも高頻度字で学習コストが低い

2) front/前/空間的に「前」を表す最も基本的な漢字/画数が少なく汎用度が高い

3) facet/切面/宝石の切子面や幾何学的「面」の切り口を表すのに用いられる/「切」は常用部首「刀」由来で覚えやすく、「面」は既出で学習コストを抑えられる

4) surfac/表面/「surface」の定訳であり、日中ともに理解しやすい/「表」は今後ほかの語でも再利用が見込まれる

5) fac/面/「面」は「面積」「表面」「顔面」など多義に使われる/既出重複利用で学習コスト削減

6) fizionomi/相貌/人相・容貌を表すのに使われる標準的表現/やや画数多めだが中国語でも「相貌」はよく使われ意味が分かりやすい

7) profil/侧面/横顔・側面・プロフィールの意味/「侧」は簡体字で画数が少なめ、「面」は既出

8) trajt/特征/顔立ち・特徴・性質を表す際の標準的な語/中国語で「特征」は日常的に使われ意味が明確

9) vizaĝ/脸/「顔」の最も一般的な簡体字/「面」との混同を避けられる上、意味が一義的で分かりやすい

10) mien/表情/顔つき・表情を指す際に広く使われる/「表」は既出で再利用、「情」も応用範囲が広い

11) du/二/数字の「2」/画数が極めて少なく、初学者にも容易

12) ambaŭ/两/両方を示す簡体字/中国語で最も一般的、画数も少なめ

13) ambaŭ##/两/上と同じ「両方」の意味/品詞の違いは上付き文字や文脈で区別

14) par/对/ペア・一対を示す/「一对」など中国語で日常的に使われ馴染みやすい

15) dual/双/「二重の」「二つの」「双」のニュアンス/日本語「双子」「双方」などからも連想しやすい

16) ĝemel/双子/双子を直接示す簡明な表現/「双」「子」いずれも画数が少なく覚えやすい

17) akcesor/副/副次的・付随的なものを指す際に使われる/「副」は「副手」「副会長」などにも使われ汎用度が高い

18) sekundant/副手/決闘などの「セコンド」的立会人をイメージ/「副」を再利用しつつ補助者を示す「手」を組み合わせた

19) humor/心情/気分・ムードを表す/「心」は基礎字で既出、「情」も表情(10)と同じで学習コストを下げられる

20) temperament/气质/「気質」を最も端的に示す簡体字表現/常用語であり中国語でも非常に分かりやすい

21) cerb/脑/脳を示す簡体字/「腦」の簡体字形で画数を抑えられている

22) kor/心/「心臓」「心」を表す最も基本的な漢字/画数少なく概念が直感的

23) sin/怀/懐(ふところ)・胸に抱くイメージ/日本語の「懐」の簡体字で画数が比較的少ない

24) erotik/色情/性愛・エロティックの意を表す際の一般的表現/やや直接的だが広く認知されている

25) seks/性/性・性別を指す代表的漢字/画数が少なく多方面に応用可能

26) hermafrodit/两性体/雌雄同体の意/「两」「性」いずれも既出で、追加漢字は「体」のみ

27) ge/男女/男女両性を合わせて指す/「男」「女」はどちらも画数が少なく馴染みが深い

amfibi / 两栖动物 / 両生類を指す標準的な中国語表現（「两栖(両栖)」+「动物(動物)」） / 「动物」は後述の“animal”と同じ要素を含み、学習コストを抑えやすい

1. brut / 家畜 / 「家で飼われる畜生」の意で、日本語話者にも直感的に分かりやすい / 「家」「畜」はどちらも比較的高頻度漢字であり、複数の語に転用可能
2. best / 兽 / 「野獣・獣類」を表す簡体字の代表例（日本語「獣」の簡体字） / 単一文字なのでコンパクトだが、やや「野生の獣」寄りのニュアンスになる点に留意
3. animal / 动物 / 「動物」を意味する最も一般的な現代中国語表現 / 1)の「两栖动物」と要素を共通化でき、学習コストを削減
4. korp / 体 / 「身体」を表すシンプルな1文字 / 後述の「生体」(organism)などに再利用でき、学習コストを抑制
5. organ / 器官 / 解剖学的な「器官」を表す標準的な2文字熟語 / やや画数は多いが、日中両方で一般的に用いられる
6. organism / 生体 / 中国語では「有机体」「生物」なども使われるが、ここでは「体」との連携を重視 / 5)「体」と共通の要素を使うため学習効率が良い
7. ripoz / 休 / 「休む・休止」を示す基本漢字 / 本来は「休息」「休止」などの複合形で使うが、1文字に簡略化し画数を抑制
8. feri / 休假 / 「休日・休暇」を表す代表的表現 / 8)「休」を再利用しつつ「假(休み・休暇)」を追加、熟語として分かりやすい
9. pensi / 养老金 / 「年金」を指す一般的な簡体字表現（“養老金”） / 「金」は貨幣・金銭を示す基本文字で汎用性が高い
10. emerit / 退休者 / 退職した人(=年金受給者含む)を表す自然な表現 / 「者」は23)「作者」にも登場し、学習コストの相互補完が期待できる
11. komandit / 有限合伙 / 「(商法上の)有限責任の合伙(パートナーシップ)」を示す標準的表現 / 「合」は19)「合同」とも関連し、再利用しやすい
12. kompani / 公司 / 「会社」を意味する最も一般的な現代中国語表現 / 画数は少なく、ビジネス関連で頻出
13. korporaci / 社团法人 / 「社団法人」を表す比較的正式な表現 / 16)「社会」の「社」と同根であり、学習面で関連付けられる
14. sindikat / 工会 / 「労働組合」を指す簡体字での代表的略称 / 「会」は後述の(16)(17)(18)とも共通し、再利用性が高い
15. societ / 社会 / 「社会」の意味で最も標準的な2文字熟語 / 14)「社团法人」などとも「社」を共有し、学習コスト低減
16. asoci / 协会 / 「協会」を意味する代表的な表現(“協”の簡体字は「协」) / 21)「协定」と「协」を共有し、関連づけやすい
17. rendevu / 约会 / 「デート」「会合の約束」を表す一般的な言い方 / 20)「条约」の「约」と共通要素がある
18. kontrakt / 合同 / 中国語で「契約」を指す際にも日常的に用いられる言い方 / 12)「合伙」と同じ「合」を含むため、学習コストを抑えられる
19. traktat / 条约 / 「(国家間などの)条約」を意味する標準的な語 / 18)「约会」と同じ「约」を含む
20. konvenci / 协定 / 「(国家間の)協定」を意味する一般的な熟語 / 17)「协会」の「协」を共通利用できる
21. verk / 作品 / 「著作・作品」を指す非常に一般的な表現 / 23)「作者」と連携して理解しやすい
22. aŭtor / 作者 / 「著者」「作者」を表す基本的な2文字熟語 / 11)「退休者」の「者」を再利用
23. sekretari / 秘书 / 「秘書」「書記」を意味する現代中国語表現 / 高頻度語であり他の業務関連用語とも相性が良い
24. redakci / 编辑部 / 「編集部」を表す標準的な組合せ(“编辑(編集)”+“部”) / 26)「编辑」との共通部分が大きく、学習効率が高い
25. redaktor / 编辑 / 「編集者」を指す語 / 25)「编辑部」と同じ構成要素を用いており、対応づけが容易
26. tez / 命题 / 「命題」「(論証が必要な)主張」を表す表現 / 研究・論文の題目としてのニュアンスが強い

misi

* + 提案: 使命
  + 理由: 「mission」を最もストレートに表す標準的な語。「使命」の形で広く使われ、日中いずれの話者にも意味が分かりやすい。
  + 学習コスト: 単字「使」「命」ともに比較的基本的な漢字で、さらに2文字熟語「使命」自体もよく用いられるため、学習コストは妥当と判断。

1. adres
   * 提案: 地址
   * 理由: 「住所／アドレス」の標準的な中国語表現。日本語話者にとっても「地」は「土地」「地面」で見覚えがあり、「址」は住所や場所を示す要素として分かりやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが、ともに非常に高頻度。省略して「地」単字のみだと意味が曖昧になるため、標準形「地址」を採用。
2. leter
   * 提案: 信
   * 理由: 中国語で「手紙」「書簡」を表す最も基本的な単字。「信件」「书信」などにも使われ、日常で目にする機会も多い。
   * 学習コスト: 単字1文字で、画数もそこまで多くない(9画)。初学者にも比較的覚えやすい。
3. poŝt
   * 提案: 邮
   * 理由: 「郵便」「郵送」など「ポスト」に当たる意味を端的に表す単字。実際に中国でも「邮局(郵便局)」「邮件(郵便物)」などの形で使われる。
   * 学習コスト: 1文字で済むうえに高頻度。非漢字圏にも「mail/post」の概念を関連付けしやすい。
4. film
   * 提案: 胶片
   * 理由: 写真撮影や映写に用いる「フィルム」を指す標準的表現。日本語でも「膠(こう)」は「にかわ」や「接着剤」の意を持ち、「片」は「切片」「かけら」として馴染みがある。
   * 学習コスト: 2文字だが「胶」「片」ともに比較的日中で見かける頻度は高め。「片」は他の単語(写真→照片 など)でも再利用可能。
5. kin
   * 提案: 电影
   * 理由: 「映画」を表す中国語の標準形。「电」は電気、「影」は影(かげ)の意味。日本語話者にも「映画＝電と影」の組合せはある程度イメージしやすい。
   * 学習コスト: 2文字ながら「电」も「影」も頻出。後述の「摄影」にも「影」が登場し、再利用が可能。
6. fot
   * 提案: 照片
   * 理由: 「写真(写真そのもの)」を表す最も一般的な語。日本語の「照らす」「片(切片)」とも対応しており意味類推はしやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが「照」「片」はそれぞれ単独でもよく使われる漢字。すでに「片」は film(胶片) と共通。
7. fotografi
   * 提案: 摄影
   * 理由: 「写真術」「写真を撮る行為」全般を表す標準的な語。「摄」はカメラや映像関連で頻出、「影」は映画(电影)でも出た。
   * 学習コスト: 2文字熟語だが、すでに「影」は登場済み。新出の「摄」はやや画数が多いものの、高頻度語である。
8. fotograf
   * 提案: 摄影
   * 理由: 形容詞的に「写真の」「撮影の」に近い意味や、動詞で「(を)撮影する」を表す場合にも同じ「摄影」で十分対応可能。
   * 学習コスト: 上記fotografiと同じ形を再利用することで学習コストを削減。
9. fotograf##

* 提案: 摄影师
* 理由: 「カメラマン」を指すときは「～师」の形で「～の専門家・職業人」を示すのが一般的なので「摄影师」が自然。
* 学習コスト: 「师」は「老师(先生)」「医师(医師)」などでも使われる常用字なので汎用性が高い。

1. rekord

* 提案: 记录
* 理由: 「記録(する)」に相当する標準語。中国語でも書面・音声など、あらゆる「記録」を指す場合に用いられる。
* 学習コスト: 2文字ながら「记」と「录」はともに頻出度が高い。非漢字圏学習者にも比較的導入しやすい。

1. monument

* 提案: 纪念碑
* 理由: 「記念碑」を表す一般的な中国語表現。「纪念」は「記念・記念する」の意味、「碑」は石碑を指す。
* 学習コスト: 3文字だがいずれも基本的な漢字で、中国語・日本語いずれでも比較的馴染みがある(例:「記念」「碑文」など)。

1. epigraf

* 提案: 碑文
* 理由: 「碑銘」「石碑などに刻まれた文句」を意味し、中国語では「碑文」が最も一般的。「题词」「铭文」などもあるが、記念碑の文面なら「碑文」が分かりやすい。
* 学習コスト: 「碑」はすでにmonumentで使用。「文」は画数も少なく普遍的な常用字。